

いりこ発信
事業報告

恵みのいりこ文化を
次世代に

NPO法人いりこ倶楽部
理事長 山川 かずこ



四国中央市は愛媛県の東端で瀬戸内海燧灘に面しています。昔から四国中央市沖で獲れるカタクチイワシのいりこは品質も味も良く、食べるだけでなく独特の文化を形作りました。神事のお供えや祓い清めの意味で衣類に忍ばせたりと他地域では見られない風習が今でも残っています。しかし、食生活の変化や自然環境の変化により、若者を中心にいりこの存在感がなくなっています。この独特ないりこの文化を残したいと有志の人と活動を始めました。現在いりこに思い入れを持った14名の会員で熱く問題に立ち向かっています。

小学生にいりこの体験学習

異業種連携散策体験ツアー「大人の修学旅行」、料理実習「いりこ飯をつくって食べる会」を毎年開催していますが、平成28年夏に小学校PTAのご協力で「親子体験いりこめしの会」といりこの解剖教室」を開催しました。今では小学生は解剖の授業がないこともあり、本事業に取り組みました。講師は京都の小学校の理科の先生で、大人の修学旅行に参加

された方です。大変好評で再度開催の要望がありました。講師を呼ぶ費用がありました。そこで平成29年アシスト事業助成に応募しました。幸いに願いが叶い、8月11日（山の日に開催しました。参加者からは毎年してほしいと言われていますが、講師を招いての開催は無理でしょう。知らなければと思っています。



お米を洗って入れていりこを敷き詰めて



いりこの小さなパーツを楊枝で分離して台紙へ

いりこ料理レシピ集発行

助成金申請の時、「いりこレシピ集作成」も計画に盛り込んでいました。会員のレシピ募集活動の結果、四色カラー見開き12ページのレシピ集「いりこを食べる」を9000部印刷しました。レシピは市内飲食店・栄養士その他個人からのものです。これは市内高校3年生、小中学生、保健センター、公民館等に配布しました。四国中央市に贈呈し、各メディアが取り上げてくれ、市外からも要望があり皆作業に追われました。

これから

結成して5年が過ぎ、我々の活動が認知されてきています。四国中央市はいりこを中心におもしろいことをしているところだと興味を持ち、行ってみたいと思われるようになりたいです。そして若い人達がいりこの良さや地域の文化を、他の地域へ行って誇りに思っていて暮らしてほしいし、語ってほしいと思っています。